（別添４）

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

（令和８年　２月　26 日記載）

この度は、当法人が運営する障がい者支援施設明星学園において、第三者評価を実施して頂き、また理念や日々私共が取り組んでいる支援等について高く評価して頂きましてありがとうございました。

今回で３回目の受審となります。

前回同様、多岐にわたる調査項目の一つ一つを振り返りながら、改善できたこと、改善できていなかったことや運営・管理していく上で施設としてのやるべきことを再認識しています。

前回に続き、私共が思っている以上に高く評価して頂いた部分が多く、その部分については日々取り組んでいる支援に対して自信を持って続けていくこと、また高い評価に恥じないように継続して努力していく謙虚な気持ちも併せ持って取り組んでいきたいと思います。

前回指摘された事項について、今回までに改善できた事項もありましたが、今回も“特に改善する必要があると思う点”がいくつか挙げられています。内容として、①「施設の衛生環境の整備について検討をお願い致します。」という点です。施設内は、利用者が生活する上で心配や危険がないように工夫され、安全性が確保されている、という部分については評価して頂きましたが、建物内には、利用者の「よだれ」「排せつの失敗跡」が見られ、施設臭が気になることや施設内に長くいると気づきにくくなりがちですが、爽やかで心地よい建物環境に向けた取組みをお願い致します。とのご指摘に対しわかっていたつもりで、大型の空気清浄機の導入、定期的な換気など対策は講じていたものの、まだまだ不十分であると再認識しました。新たな工夫を考えたいと思います。②「職員の事業所経営・運営内容を含めた意識向上に取組まれることを期待致します。」という点について、「職員自己評価票」のチェック内容では、内容評価項目（具体的支援項目）の理解が深く、支援への積極的な取組み姿勢が感じられる、という部分では評価していただきましたが、共通評価項目のチェック内容からは「わからない」「知らない」の回答が非常に多くなっている。利用者支援の向上には、「共通評価項目」の内容理解は重要です。今後の取組みにおいて、法人・事業所の経営・運営内容（共通評価項目）への理解を深めて頂き、明星学園が示すように「あなたも私も幸せになる」大きな目標に向かい邁進されることを望みます。とのご指摘をいただきました。利用者支援に関する研修制度は確立してきていますが、経営・運営といった部分での理解を深める内部研修ができておらず、退職・入職を数年繰り返すうちに内部研修もあまりできていないため、経営・運営に関する理解が薄くなっているものと感じています。年間の研修計画に組込めるように工夫したいと考えます。

利用者調査では、概ね満足の回答を頂きましたが、いくつかの設問で不満の回答をされた様子がありました。利用者さんが不満に感じているところをもう一度見直し、今後も利用者さんに満足して頂けるように不満の一つ一つを取り除いていく支援を提供していきたいと思います。また継続して、職場環境や業務分担の見直しを行いながら職員が長く働ける職場として定着すること、また、地域の方々と互いに支え合える関係を構築することで、私共が目指す、法人の理念でもある「みんな幸せになりたい　あなたも私も」に近づいていけるものと信じています。この第三者評価を継続的に実施し、風通し良く、より良い施設を目指していきたいと思います。

この度は、有意義な機会をいただきまして、誠にありがとうございました。

＊　公表の同意をした場合は、評価機関に、電磁的に作成し電磁的に保存した媒体及び当該媒体を出力した書面（署名をすること。）を提出すること。

＊　評価機関は、福祉サービス事業者から提出のあった当該書面を県へ提出すること。

社会福祉法人明星会
第二明星学園
園長　中 澤　福 雄